



京都ノートルダム女子大学学生としての 学修計画について

学 長 芹 田 健 太 郎

ようこそノートルダムへ。ノートルダムは、フランス語では、Notre-Dameと綴り、カトリックの伝統では処女マリアを指し、あるいは教会の名前（たとえばNotre-Dame de Parisや、アルジェにあるNotre-Dame d’Afriqueなどこの名を冠した教会が各地にあります）として使われてきました。もともとは、封建時代は別として、Dameは高貴な階層や生まれの女性、貴婦人を意味し、今では婚姻した女性も指しますが、底にあるのは気品のある成熟した女性の意でしょう。本学ではカトリックの大学であるので、聖母マリアを意味します。カトリック教会において聖母マリアは、プロテスタント諸教会における場合と異なり、特別な地位にあります。カトリックの聖堂とプロテスタントの聖堂に入って、跪いてみるとすぐ分かります。マリア崇拝について議論はありますが、いつの時代でも、私たちは、洋の東西を問わず、大いなる者、未知なる者の前に跪いてきました。私たちもそうしてみたいと思います。そして、ノートルダムを思い起こしましょう。それが自律した人をつくります。

さて、ノートルダムでの4年間をどのように過ごすか。もちろん、友達とおしゃべりをし、泣き、笑い転げることは必要です。先生からは聞かばかりでなく、ときに先生に大議論を吹きかけることも必要です。この4年間を、そうすることのできる自律した自分を創り上げていく4年間として下さい。そのために、ノートルダムのすべて、施設も、先生方も、事務職員も、利用できます。私たちは待っています。いつでも用意ができています。

あなたたちがしなければならないこともあります。それが4年間のあなたたちの学修計画です。あなたは何者か。あなたは何になりたいのか。人生を語るには早すぎるけれど、人生の準備はいつから始めても遅くないのです。初等教育を通り抜け、中学校、高等学校での中等教育を終えた今、いわば親離れの今こそ、そのチャンスです。私たちがあなたたちの入学に当たって準備したものは、あなたたちの4年間、変わらず、あなたたちを支えます。一人ひとりが属する学部学科ごとに、自分でしっかり決めて下さい。このパンフレットは、あなたたちの4年間の必須のお供です。良い4年間を一緒に過ごしましょう。そして、そのことが長い人生を支えることになりますように。